

『誕生日』 作：ポチ子

ねえ、この人知ってる？

・・・へえ、アイドルなんだ。

いや、ツイッターのトレンドに名前あったから。

今日誕生日なんだってー。

いいなあ、何歳になっても誕生日祝ってもらえるなんて。

生まれただけで喜ばれるって幸せだよね。

え？ああ、今年誕生日祝ったじゃんって？

その節はありがとうございます。

プレゼント大切にに使わせていただいております。

・・・私だってさ、いろんな人に祝ってもらえるよ？

家族とか、友達とか、あんたとか。

プレゼントだってもらえるし、この歳になっても。

それはすごくうれしいんだけど。

大人になって、家族とか友達という時間よりも、

社会に溶け込む時間が増えて、

自分の存在が、必要なのかなって思う時もあったさ。

むしろ、望まれてないんじゃないかって時の方が多くて。

別に皆が皆、私のこといらなくて思ってるわけじゃない、

それも分かるし、

99%の人が、私のことなんか考えずに生きてることも知ってる。

でもそれって、いてもいなくても一緒ってことでしょ？

生きてたら辛いけど、

死んでもそこまで迷惑もかけないし、

私も楽だし。

あれ、一件落着じゃない？って。

ごめんね、こんな話して。

メンヘラを彼女になんかするから、こうなんの。

いつもの通り心配しなくていいから。

本当に死ぬわけじゃないし。

ただツイッターに闇ツイートする代わりに、

誰かに話したかっただけ。

その誰かに選ばれちゃって、さぞ可哀想なこと。

ふふ、大丈夫だよ。

— 終わり —